

国指定史跡
新高山城跡・高山城跡



三原城



高山城は鎌倉・室町時代を通じて小早川氏が本拠地とした山城で、第4代茂平が建永1(1206)年に築城したと伝わる。

標高190.2m 谷を挟んだ南北に曲輪群が配置されている。

隆景が天文20(1551)年高山城に入り、翌年6月に対岸の新高山へ移ったことで、本拠地としての役目は終わる。

新高山城は天文21(1552)年隆景が改修し、入城した。

当時は本郷まで海が入り込んでおり、水軍基地としても重要な意味を持ったという。

標高197.6mで城の縄張り東西約400m、全国的にも屈指の井戸郭(6基の石積み井戸)がある。

匡真寺跡には当時の築庭跡があり、今でも瓦片が散乱している。

三原城は永禄10(1567)年に水軍の重要性を確信した隆景が築いた。

四国平定、九州平定の後、文禄4(1595)年11月には養子秀秋に家督を譲り、三原城へ入った。

慶長2(1597)年三原城内で死去、法常寺で荼毘に付され米山寺に埋葬された。



法常寺(葬儀が行われ境内で火葬された)



米山寺(小早川家菩提所)



米山寺(小早川17代までの宝篋印塔)

戦国時代の智将

小早川隆景

KOBAYAKAWA-TAKAKAGE



絹本着色；小早川隆景像

(国重要文化財・米山寺蔵)

毛利元就の三男として誕生し、後に小早川家の17代当主となり、新高山城改修、三原城を築く。豊臣政権下で、四国平定、九州平定などで功績をあげ、五大老の一人に任じられた。



本郷町観光協会
広島県三原市本郷南
5丁目26-11
TEL 0848-86-5717
平日9時～12時



小早川隆景 65年の生涯

和暦	西暦	年齢	綴り	その他・出来事
天文2	1533	1	郡山城で毛利元就の三男として誕生(幼名は徳寿丸)	1539年大内氏が高山城占領
13	1544	12	竹原小早川家の家督を継ぐ	1543年ポルトガル人が、種子島に漂着。鉄砲伝来
14	1545	13		1545年母妙玖死去
15	1546	14		1546年父元就隠居
16	1547	15	神辺城の支城龍王山砦を陥落させる	兄隆元が毛利家を継承する
19	1550	18	沼田小早川家の家督を継承する	次兄、元春が吉川家の家督を継承する
20	1551	19	高山城に入る	1549年ザビエルがキリスト教を伝える
21	1552	20	新高山城に入り本城とする	兄隆元の嫡男、輝元誕生
22	1553	21		
24	1555	23	厳島合戦で毛利軍は陶軍に勝利・隆景が戦功をあげる	1557年大内氏滅亡
弘治3	1557	25	元就が隆元・元春・隆景の三子に教訓状を送る	
永禄4	1561	29	元就、隆元父子を新高山城に招いて歓待する	
6	1563	31		1563年兄隆元死去、輝元が毛利家の家督を継承する
10	1567	35	三原城を築く	
11	1568	36	吉川元春と共に伊予出陣 平定 九州出陣	
元亀1	1570	38	信長が隆景に書状を出し以後交渉窓口は隆景になる	1570年石山寺合戦始まる
2	1571	39		1571年元就死去(75歳) 安国寺恵瓊、織田信長に拝謁
天正2	1574	42	浦上宗景、織田信長の後援を受けて毛利氏と戦う。毛利と織田の戦いが始まる	1573年室町幕府滅亡
4	1576	44	第一次木津川河口の戦いで毛利水軍が織田軍を破り 大阪本願寺に兵糧を入れる	1576年足利義明、備後頼へ
6	1578	46	上月(播磨国)の戦いで尼子氏を滅ぼす 第二次木津川河口の戦いで織田軍に大敗 備中高松城の戦い(秀吉が城を囲む)	1577年信長、安土城を築く
10	1582	50	6月4日、秀吉と講和 6月6日、本能寺の変の報告を受けた吉川元春ら、秀吉の追撃を主張するも、隆景は制止。	1582年6月2日、本能寺の変 織田信長、死去
11	1583	51	吉川広家と小早川秀包を秀吉への人質に出す	高松城主・清水宗治、切腹
12	1584	52	秀吉との講和がほぼ整う。	1583年羽柴秀吉大阪城築く
13	1585	53	秀吉の雑賀攻め和歌山、四国攻めに従う。 秀吉より、伊予国を拝領	1585年秀吉、四国平定関白となる
14	1586	54	秀吉の九州攻めに従う	1586年11月元春、豊前小倉の陣中で死去 広家が吉川家の家督を継承
15	1587	55	秀吉より、筑前一国・筑後一国・肥前一郡拝領。	
16	1588	56	筑前名島城改修開始	
文禄1	1592	60	秀吉の命令を受け朝鮮へ出陣(文禄の役) 岱軍大将を務める	1591年毛利、広島城完成
2	1593	61	碧蹄館の戦いで、明・朝鮮軍を破る	
3	1594	62	秀吉の甥、秀俊(のちの秀秋)を養子に迎える	1593年秀秋、三原城で婚礼
4	1595	63	従三位、権中納言五大老に命じられる 秀秋に家督を譲り三原城に入る	
慶長2	1597	65	秀吉から筑前国鞍手郡、宗像郡、御牧郡内、5万150石拝領 三原城内で死去、法常寺で荼毘に付され米山寺に葬られる	

「小早川隆景」その人物像を探ってみる

15世紀後半、室町幕府が衰退し戦国時代が始まると、多くの大名が「天下統一」を目指して覇権を争った。

☆ 戦国時代屈指の知将

1555年、陶晴賢との厳島合戦では、能島・来島・因島の村上水軍を味方につけた奇襲作戦により勝利する。

隆景は、何事も十分に時間をかけて判断する男であった。

☆ 征服欲よりも義を守る知将

「一本の矢なら簡単に折れるが、三本束ねれば簡単に折ることはできない」という元就の「三矢の訓」を、毛利家存続のため生涯守った。

☆ 民の命を守る優しさ溢れる知将

無駄な戦いを避けるため和睦を重視し、1582年の秀吉による備中高松城水攻めでは、民を守るため、止む無く城主清水宗治の自刃を受け入れた。

☆ 民の生活を守る優れた政治家

隆景は、秀吉から四国の伊予も任されるが、当時のキリスト教宣教師は「争いの絶えない日本にあって伊予には騒動も争いもなく、奇跡的である。

このような人物は他にいない」と書き残している。

☆ 友を思いやる信義溢れる知将

秀吉の参謀、直感で物事を進める黒田官兵衛を讃えながらも、十分に時間をかけて判断する自らのスタイルも助言している。

☆ 妻を愛する優しき夫

生涯妻を愛し、側室を持たなかった。

小早川隆景が三原へ移した寺院

寺名	宗派	本尊	所在地	由来
①宗光寺	曹洞宗	釈迦牟尼如来	本町	天正5年(1577)新高山城内に隆景が創建、天正10年(1582)現在地に移す
②香積寺	曹洞宗	釈迦牟尼如来	本町	明應3年(1494)真良村に小早川興平が創建、文禄2年(1592)現在地に移す
③極楽寺	浄土宗	阿弥陀如来	東町	嘉禎3年(1237)舟木村に創建、天正10年(1582)現在地に移す
④成就寺	臨済宗	千手観世音菩薩	本町	高山城下にあり、天正19年(1591)現在地に移す
⑤順勝寺	浄土真宗	阿弥陀如来	西町	文明年中(1469)高山城下に創建 永禄?年に現在地に移る
⑥法常寺	曹洞宗	華嚴釈迦牟尼如来	西宮町	正壽2年(1258)新庄村に創建、天正20年(1592)現在地に移す
⑦大善寺	浄土宗	阿弥陀如来	西町	高山城山麓にあり、天正8年(1580))現在地に移す
⑧壽徳寺	日蓮宗	題目寶塔	西町	高山城下に長禄元年(1457)創建、天正元年(1573)現在地に移す

瀬戸内の海に浮かぶ三原城(江戸後期)

三原市歴史民俗資料館蔵

